



2016年度 第2四半期 決算説明資料

2016年8月4日

サッポロホールディングス株式会社

URL <http://www.sapporoholdings.jp>

1. 2016年度 第2四半期 決算概況

2. 2016年度 第3・4 四半期に向けて

3. 中期的なポートフォリオの展望

Appendix：事業別データ集



1. 2016年度 第2四半期 決算概況



SAPPORO

2016年度 第2四半期決算 グループ概観

決算：営業利益43億円改善（前期比）

(億円)	前 期	当 期	差異
売上高	2,458	2,489	30
営業利益	▲12	30	43
当期純利益	11	4	▲6

- ▶ 営業利益は全セグメントで収益改善し、2年ぶりの黒字化
- ▶ トップライン増加に加え、経営効率化の取り組みを進める
- ▶ 当期純利益は黒字で着地、前期の渋谷桜丘スクエアの売却による特別利益計上があったため減益となった

有言実行の1年への着実な折り返し

- ▶ 「ビール強化元年」のことば通り「黒ラベル」「アビス」が牽引し、ビールカテゴリーは販売数量大幅増
- ▶ 国際事業、食品・飲料事業では製造原価低減、取引見直しなどの経営効率化を進める
- ▶ 恵比寿ガーデンプレイスは年初より高稼働を維持、賃料水準も改善

計画未達リスクへの対応

- ▶ 各事業で売上に応じた販促費などのコストコントロールを継続
- ▶ 為替変動（円高進行）により海外事業の換算による減収・減益リスクあるが、他事業でカバー可能な範囲

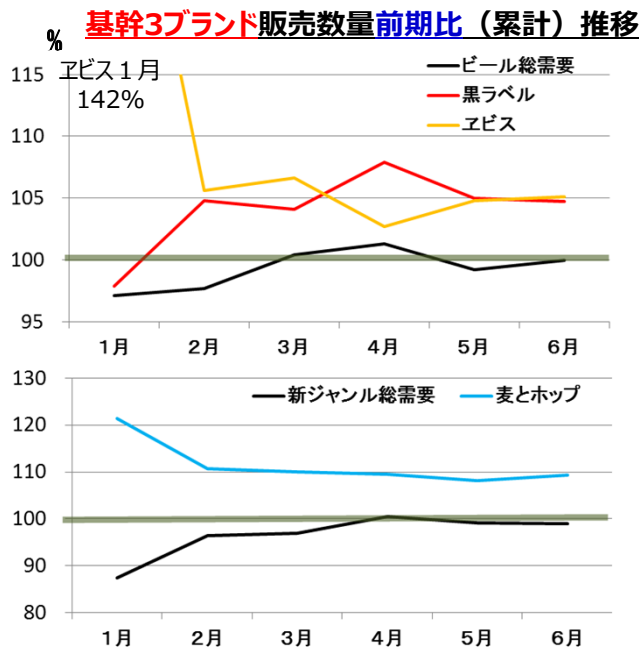


SAPPORO

2016年 第2四半期事業別トピックス(1) 国内酒類事業

国内ビール事業

基幹ブランド集中、ビール類販売数量は前期比101%



<ビール> 1~6月累計前期比106% (総需要100%)

- **「黒ラベル」** ブランド計前期比105% 昨年以来缶製品が大きく牽引 4月に限定発売した「エクストラブルー」は計画上回る
- **「アビス」** ブランド計前期比105% 3月にはクオリティアップ 5月発売 アビスの最高峰「アビスマイスター」は順調に推移
- **ビール構成比(累計数量)** '15年2Q・56% → '16年2Q・59%



<発泡酒+新ジャンル> 1~6月累計前期比96% (総需要97%)

- **「麦とホップ」** ブランド計前期比109% 2月にリニューアル、好調に推移
- **「極ゼロ」** 前期比88% 9月リニューアル実施し、秋に向けテコ入れ



多層化の推進

- **伸長する市場への積極的な取り組み**
 - **ファインワイン(※1)** 市場へ世界的ブランドの提案
 - **RTD市場**では当社独自の高付加価値コラボ商品を展開し、1~6月累計販売数量 前期比125%
(※1) 1,500円以上の中高級価格帯ワイン
- **洋酒・和酒市場でも売れ筋商品を着実に伸ばす**

「パンフォールズ」

「テタンジェ」

左から「男梅サワー」
「キレートレモンサワー」
「ネクターサワー」

「デュワーズ」

「こくいも赤」





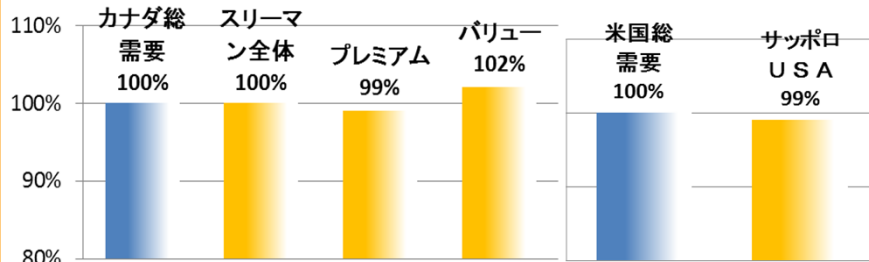
SAPPORO

2016年 第2四半期事業別トピックス(2) 国際事業

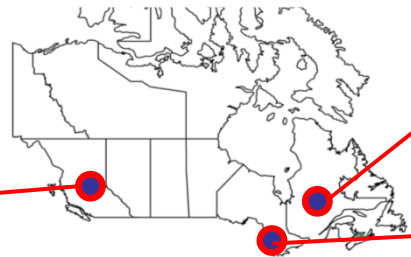
北米ビール事業は堅調に推移、ベトナムは2Q以降は復調

北米ビール事業

北米ビール 1~6月売上数量前期比



バーノン工場
(ブリティッシュ
コロンビア州)



シャンブリー工場
(ケベック州)

ゲルフ工場
(オンタリオ州)

「スリーマン」

原油安によるカナダ景気減速を背景とし、西海岸中心にパリュー製品が伸びる。オンタリオではプレミアムが牽引

「サッポロUSA」

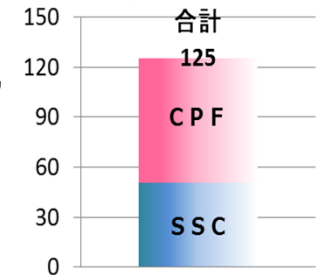
卸の在庫調整の影響もあり前年割れだが市場では回復傾向

米国飲料事業

「カントリーピュアフーズ」「シルバースプリングスシトラス」

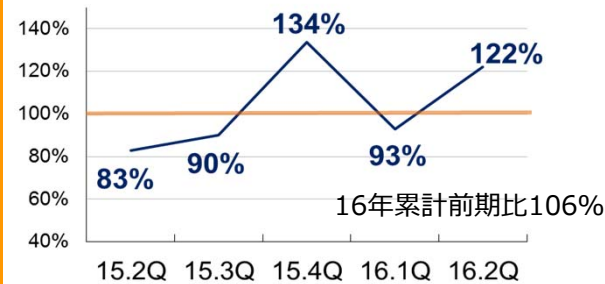
- 2社で製造体制の最適化などシナジー追求
- 不採算取引見直し、オレンジ・アップル果汁の原価低減により、収益性が向上
- 5月「リッジフィールズ」より100%果汁シャーベット事業を買収（後述）

1~6月売上高
(US\$ millions)



ベトナムビール事業

ベトナム国内売上数量前期比の推移



<Sapporo Premium 商品群>



- 昨年11月にリニューアル、4月に瓶はクオリティアップ、ラベルをシルバーに統一
- 1Qは増税の影響もあったが、瓶・330ml缶が牽引し2Qは売上回復
- 7月、中価格帯に新商品で参入（後述）



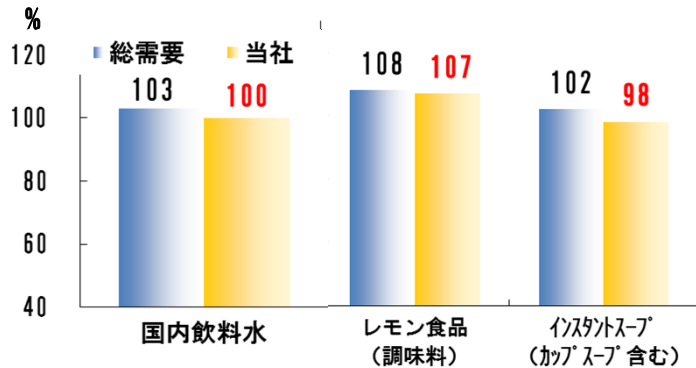
SAPPORO

2016年 第2四半期事業別トピックス(3) 食品・飲料事業

国内食品・飲料事業

▶ **ミックス改善、原価低減など経営効率化を進める**

1~6月 飲料売上数量/食品売上金額※前期比



※総需要データ 出典：インテージ SRI「SM」「CVS」業態計
レモン食品市場（当社定義） インスタントスープ市場
2016年1月～6月累計販売金額前年比

＜国内飲料＞ 売上数量 前期比100%、売上金額 前期比100%

- ▶ **レモン飲料**：「キレートレモンスパークリング」など
夏商材も好調 売上数量 **前期比103%**
- ▶ **コーヒー飲料**：堅調、売上数量 **前期比100%**
- ▶ **新商品**：全米No.1アサイブランド「サンバゾン」投入



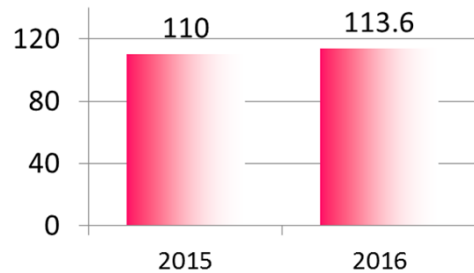
＜国内食品＞

- ▶ **レモン食品**：「ポッカレモン100」値上げ後、価格定着
売上金額 **前期比107%**
- ▶ **インスタントスープ**：売上金額 **前期比98%**
秋冬需要期の巻き返し図る



海外飲料事業

海外POKKAブランド
1~6月 売上金額 (SG\$ million)



- ▶ 本年新工場稼働予定のインドネシア、ライセンス生産開始のミャンマーで売上拡大を図る
- ▶ シンガポールでは、茶系飲料、ノンチルド果汁飲料市場でシェアNo.1を維持



大豆・チルド事業

▶ **昨年参入した豆乳事業は、1~6月売上高 11億円**

新製品投入



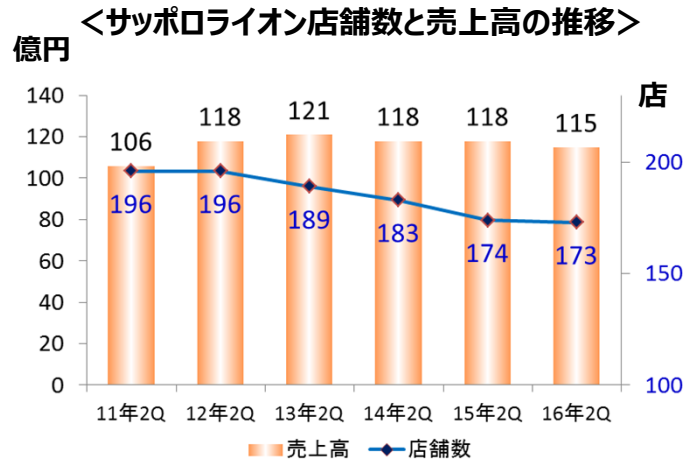


SAPPORO

2016年 第2四半期事業別トピックス(4) 外食事業

国内外食事業

構造改革で収益力強化、本年は新たな店舗展開にもチャレンジ



「サッポロライオン」 既存店売上高 前期比101%

- ▶ 原材料費、人件費の高騰と厳しい環境は続く
- ▶ 閉鎖店舗は昨年20、本年3、構造改革により高収益体質への転換図る
- ▶ 1～6月の新規店6店舗、地方都市、新業態の出店も進める
3Q以降は、7月新橋店、8月GINZA PLACE店（旧銀座五丁目店）の基幹店が再開

＜新規店＞

「CRAFT BEER KOYOEN」
KITTE名古屋店



「エビスバー」
川崎アゼリア店

「マルシカワムラ」 6月より新規連結

- ▶ 札幌を中心に「くし路」「炙屋」など18店舗を展開
- ▶ 和食業態に強み。運営ノウハウの取得とSAPPOROブランドの拡大
- ▶ 昨年度売上高約22億円

東京でも展開
「くし路」
KITTE丸の内店





SAPPORO

2016年 第2四半期事業別トピックス(5) 不動産事業

▶ 首都圏の好調な市況を背景に高稼働維持、さらなる収益力向上を目指す

賃貸物件

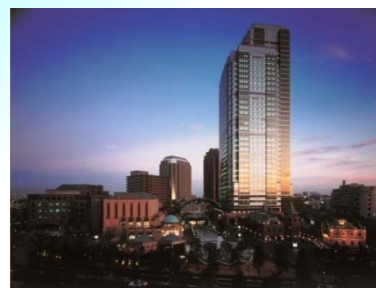
<恵比寿ガーデンプレイス>

- ▶ **引き続き高稼働を維持**
既存テナントの賃料水準向上にも取り組む
- ▶ **バリューアップ推進**
 - タワー38F飲食フロアは秋にリニューアルオープン予定、39Fも計画
 - 山手線沿いに位置する「シティウォール」リニューアル実施中

「恵比寿ガーデンプレイス」オフィス平均稼働率推移（入居ベース）

'15年 1Q	'15年 2Q	'15年 3Q	'15年 4Q	'16年 1Q	'16年 2Q
87%	91%	93%	99%	99%	99%

「恵比寿ガーデンプレイス」



2014年10月開業
「恵比寿ファーストスクエア」
100%稼働で通年寄与



開発物件

<GINZA PLACE（銀座プレイス）>（後述）

- ▶ **9月24日開業（B1F,B2Fライオンは8月3日先行オープン）**
 - 「明日の銀座を創るランドマーク」として、発信と交流の拠点となる複合商業施設が誕生
 - 地下2階11階建 **延べ面積4,750㎡⇒7,350㎡**



「GINZA PLACE」



2016年 第2四半期 連結決算ハイライト

連結決算実績	2015年2Q	2016年2Q	増減 (額/率)		※為替換算レート 2015年 US\$=¥119.17 CAN\$=¥96.00 2016年 US\$=¥111.74 CAN\$=¥83.90
			増減額	増減率	
売上高 (酒税込)	2,458 億円	2,489 億円	30 億円	1.3%	
売上高 (酒税抜)	1,946 億円	1,957 億円	11 億円	0.6%	
海外売上高比率 (酒税抜)	24.3 %	21.9 %	▲2.3	—	
営業利益	▲12 億円	30 億円	43 億円	—	
営業利益 (のれん償却前)	7 億円	49 億円	42 億円	591.1%	
経常利益	▲14 億円	26 億円	40 億円	—	
親会社株主に帰属する 当期純利益	11 億円	4 億円	▲6 億円	▲60.0%	
EBITDA	125 億円	159 億円	33 億円	126.9%	
Net 金融負債残高	2,328 億円	2,263 億円	▲65 億円	▲2.8%	
Net D/Eレシオ	1.4 倍	1.5 倍	0.1	—	



SAPPORO

2016年度第2四半期 決算概況(1) 決算特殊要因

<決算特殊要因（前年同期比）>

(— : 軽微)

事業セグメント	内容	売上高影響	営業利益影響
国際事業	前期：「シルバースプリングスシトラス社」連結取り込み期間変更 (前年10月～当年9月→当年1月～12月に変更) ⇒ 前期：2014年10月～15年6月の9カ月間取り込み 当期：2016年1月～6月の6カ月間	約▲28億円	—
国際事業	前期：「カントリー ピュア フーズ社」新規連結 (株式を取得した2015年2月24日より連結開始) 当期：1～2月の約2カ月分の売上高が増加	約30億円	—
食品・飲料事業	2015年10月に豆乳事業に参入	約11億円	—

<為替の影響>

期中平均レート (1～6月)

	2015年	2016年		売上高	営業利益
US \$	¥119.17	¥111.74	国内酒類事業	—	—
CAN \$	¥96.00	¥83.90	国際事業	▲33億円	—
SG \$	¥87.80	¥80.89	食品・飲料事業	▲11億円	—

<減価償却方法の変更>

一部定率法使用→全資産定額法に変更

	国内酒類事業	食品・飲食事業	外食事業	不動産事業
減価償却費減少額 (1～6月)	4.3億円	1.6億円	0.8億円	0.8億円



SAPPORO

2016年度 第2四半期 決算概況(2) セグメント別売上高

(単位：億円)	2015年2Q	2016年2Q	前期比 (額/率)		備考
連結売上高	2,458	2,489	30	1.3%	
国内酒類事業	1,216	1,257	40	3.4%	
国際事業	347	316	▲31	▲9.1%	為替レート (16年1-2Q平均) US\$1=¥111.74 CA\$1=¥83.90 VND1= ¥0.0050
食品・飲料事業	639	649	10	1.7%	為替レート (16年1-2Q平均) SG\$1=¥80.89
外食事業	128	126	▲1	▲1.4%	
不動産事業	98	109	10	11.0%	
その他	28	30	1	6.2%	



SAPPORO

2016年度第2四半期 決算概況(3) 売上高増減要因

[単位：億円]

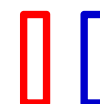
2015年1~6月
連結売上高

2,458億円

<売上高増減の主な要因>

増加 減少

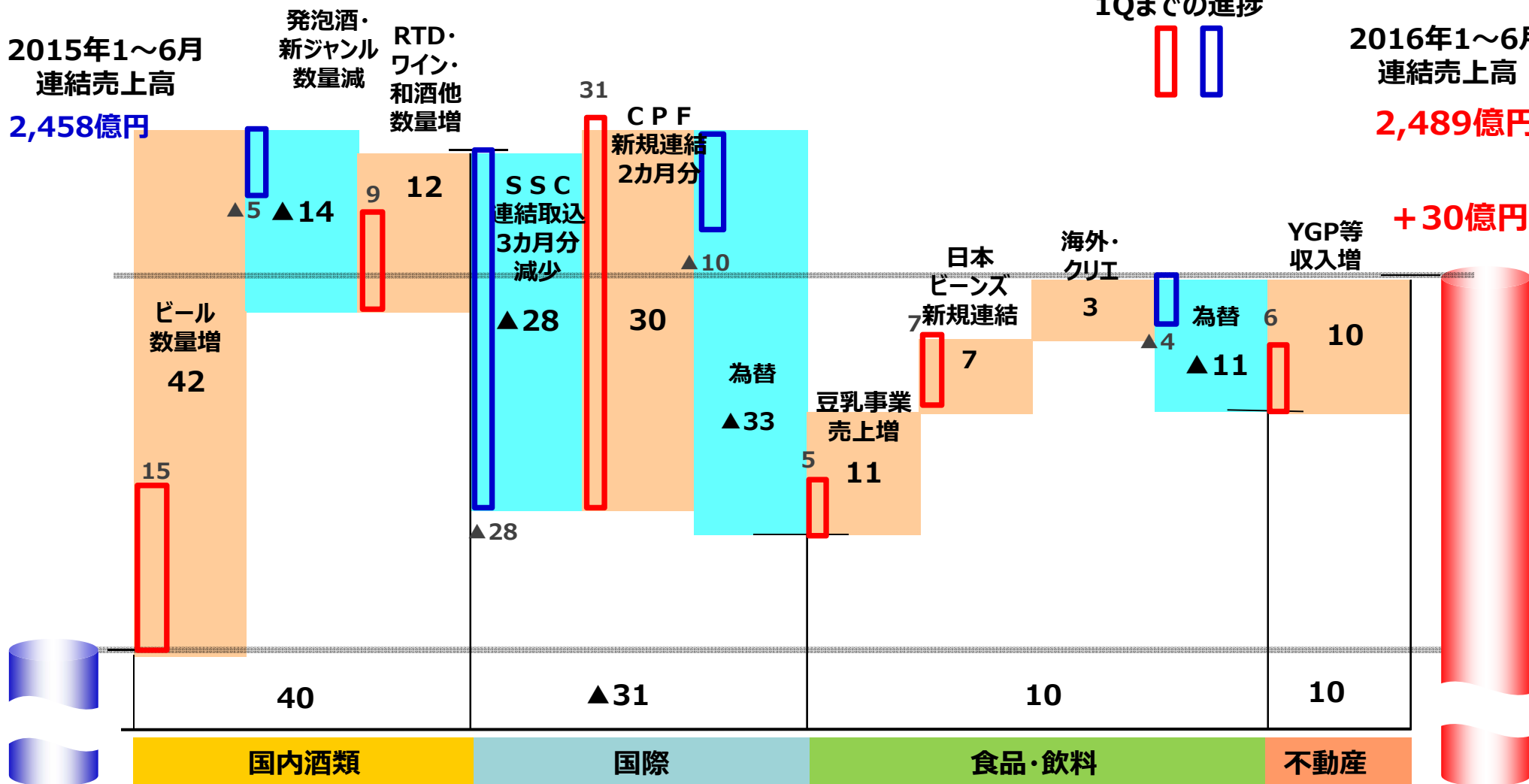
1Qまでの進捗



2016年1~6月
連結売上高

2,489億円

+30億円





SAPPORO

2016年度 第2四半期 決算概況(4) セグメント別営業利益

(単位：億円)	2015年2Q	2016年2Q	前期比	備考
連結営業利益	▲12	30	43	
国内酒類事業	▲6	14	20	
ビール等	▲21	▲3	18	限界利益14、固定費その他4
ワイン・スピリッツ	12	14	2	限界利益6、固定費その他▲4
その他	3	3	1	
国際事業	▲7	▲3	3	
北米 他	3	7	3	限界利益4、固定費その他▲1
ベトナム	▲11	▲10	0	限界利益0、固定費その他▲0
食品・飲料事業	▲14	▲8	6	
国内食品飲料	▲21	▲13	8	限界利益6、固定費その他1
海外・外食 他	7	5	▲2	海外▲0、国内外食▲0
外食事業	▲2	▲0	1	既存店▲0、閉鎖店他2
不動産事業	37	51	14	賃貸13、その他1
その他	▲0	▲0	▲0	
全社	▲20	▲22	▲2	
のれん償却費	20	19	▲0	
国際事業	8	8	▲0	15年：「北米」「ベトナム」、16年：「北米」
食品・飲料事業	11	10	▲0	「国内食品飲料」に計上
のれん償却前営業利益	7	49	42	



SAPPORO

2016年度第2四半期 決算概況(5) 営業利益増減要因

1Qまでの進捗

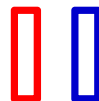
<営業利益増減の主な要因>

[単位：億円]

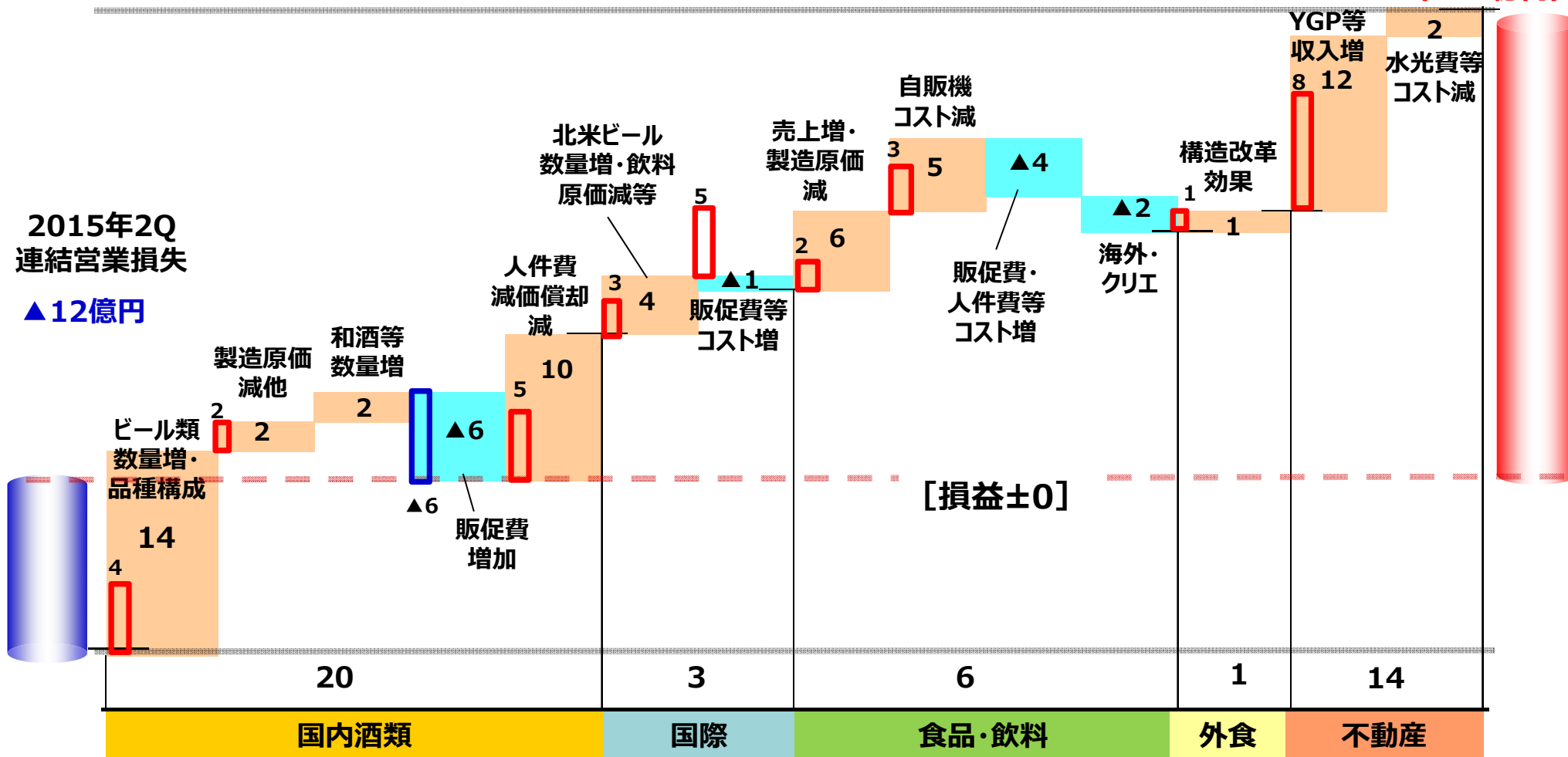
2016年2Q
連結営業利益
30億円
(+43億円)

増加

減少



2015年2Q
連結営業損失
▲12億円





SAPPORO

2016年 第2四半期 決算概況(6) 特別損益等の概要

連結損益計算書 (単位：億円)	2015年2Q	2016年2Q	前期比	増減要因
売上高	2,458	2,489	30	
営業利益	▲12	30	43	
金融収支	▲3	▲2	1	
その他の営業外損失	1	▲2	▲3	為替差損▲2
経常利益	▲14	26	40	
固定資産売却益	74	0	▲74	15年：渋谷桜丘スクエア売却73
その他特別利益	4	0	▲4	15年：補助金収入3
固定資産売却除却損	▲6	▲6	▲0	
減損損失	▲16	▲1	15	15年：福利厚生施設▲14
その他特別損失	▲3	▲2	1	
税引前利益	38	17	▲21	
法人税等	▲27	▲12	15	
親会社株主に帰属する 当期純利益	11	4	▲6	



SAPPORO

2016年度第2四半期 決算概況(7) CFの状況

連結キャッシュフロー計算書 (要約)

(単位：億円)

	平成27年度	平成28年度	増減	増減率
営業活動によるキャッシュフロー	146	148	1	0.9%
投資活動によるキャッシュフロー	※ 11	▲ 140	▲ 151	—
フリーキャッシュフロー	158	7	▲ 150	▲95.2%
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 149	13	162	—

※27年度は賃貸不動産「渋谷桜丘スクエア」の売却収入約170億円が含まれている

投資の概要 (支払ベース・経常設備投資含む)

① <設備投資・リース料> 連結合計で約 115億円

- 有形固定資産・無形固定資産・リース料 等

<主な内訳>

- 千葉工場 瓶列更新 (国内酒類) 約9億円
- インドネシア飲料工場 建築工事 (食品・飲料) 約8億円
- リース料 (食品・飲料/他) 約14億円

② <その他投資> 連結合計で約42億円

- 長期前払費用・子会社株式・投資有価証券 等

<主な内訳>

- 子会社株式・事業譲受 (国際/外食) 約22億円
- 長期前払費用 (国内酒類/食品・飲料) 約18億円

①+② <2016年1~6月 投資実績 合計>

(支払ベース/経常設備投資・リース料含む)

- **約 157億円**

長期戦略投資の方向性

- 2012年から2016年の戦略投資規模としては、1,500億円～2,000億円 (基本的に営業キャッシュフローの積み上げ) を想定
 - 経常設備投資 (投資規模の約半分) を含む
 - 2012年投資実績：約657億円
 - 2013年投資実績：約235億円
 - 2014年投資実績：約295億円
 - 2015年投資実績：約402億円
 - **2016年2Q投資実績：約 157億円 (通期計画276億円)**

ファイナンスの状況

- 2016年3月に5年普通社債 100億円 年利0.25%で調達
- 格付 JCR：A- (2016年1月28日)
- R & I：BBB+ (2016年2月29日)



SAPPORO

2016年度第2四半期 決算概況(8) BSの状況

連結貸借対照表（要約）

（単位：億円）

	平成27年度末	平成28年度 第2四半期末	増減	主な理由
流動資産	1,563	1,451	▲ 111	
現預金	104	124	20	
売上債権	923	748	▲ 175	季節要因・銀行休業日の影響等
棚卸資産	386	411	24	
その他	149	167	18	
固定資産	4,640	4,497	▲ 143	
固定資産	3,477	3,442	▲ 35	
のれん	302	288	▲ 13	
投資等	860	765	▲ 94	有価証券評価差額金減少に伴う投資有価証券の減少
資産合計	6,203	5,948	▲ 255	
流動負債	2,336	2,221	▲ 114	
仕入債務	367	378	11	
短期金融負債	928	948	20	
預り金	88	85	▲ 2	
その他	952	809	▲ 142	未払酒税の減少
固定負債	2,229	2,213	▲ 15	
長期金融負債	1,419	1,439	20	
退職給付に係る負債	76	69	▲ 6	
その他	733	704	▲ 29	
負債合計	4,565	4,435	▲ 130	
株主資本	1,333	1,310	▲ 22	配当金支払
その他の包括利益累計額	245	150	▲ 94	有価証券評価差額金の減少
非支配株主持分	58	51	▲ 7	
純資産合計	1,638	1,513	▲ 125	
負債純資産合計	6,203	5,948	▲ 255	



2. 2016年度 第3・4四半期に向けて

2016年度通期 業績見通し（年初計画と変更なし）

為替変動（円高進行）による修正は影響度を勘案して検討します

連結前期比較	2015年	2016年	増減（額／率）	
			増減（額）	増減（率）
売上高（酒税込）	5,337 億円	5,654 億円	316 億円	5.9%
売上高（酒税抜）	4,183 億円	4,452 億円	268 億円	6.4%
海外売上高比率（酒税抜）	22.6 %	23.5 %	0.9	—
営業利益	139 億円	211 億円	71 億円	51.3%
営業利益（のれん償却前）	181 億円	250 億円	68 億円	38.1%
経常利益	132 億円	202 億円	69 億円	52.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	61 億円	105 億円	43 億円	71.9%
EBITDA	423 億円	490 億円	66 億円	15.8%
NET金融負債残高	2,243 億円	2,175 億円	▲68 億円	▲3.0%
D／Eレシオ	1.4 倍	1.3 倍	▲0.1	—
ROE（のれん償却前）	6.5 %	8.9 %	2.4	—
ROE	3.9 %	6.5 %	2.6	—

※為替換算レート

2015年
US\$=¥121.11
CAN\$=¥94.82

2016年
US\$=¥126.00
CAN\$=¥96.00



SAPPORO

ベトナムビール市場と下期戦略(1)



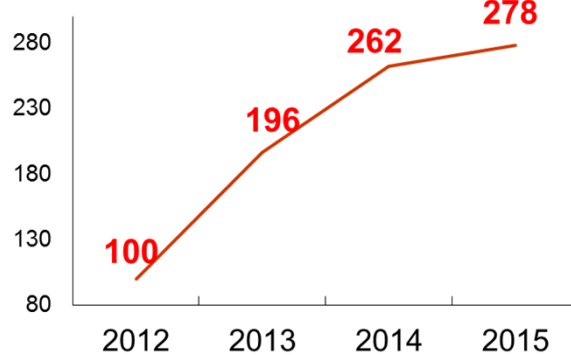
ベトナムには2011年にビール工場を設立して参入、
現在第2ステージを迎えている



主市場
ホーチミン市
(旧サイゴン)

ロンアン工場

ベトナム 国内ビール販売数量推移
2012年=100とした指数



本格参入から売上数量は3倍近くになったが、
製造数量4万KLには達していない

昨年11月にリニューアル

- ▶ **味**：当社特長の「味わい」を残し、「飲みやすさ」を追求
- ▶ **パッケージ**：ブランドカラーのシルバーを前面に押し出し、グローバルデザインをベースにブラッシュアップ
- ▶ **価格**：プレミアムカテゴリーでの競争力を考慮した価格帯へ

本年4月には330ml瓶と330ml缶の
デザインを統一



当初製造能力 4万KL
当初設備投資 約50億円

2015年11月
リニューアル



[現商品群]

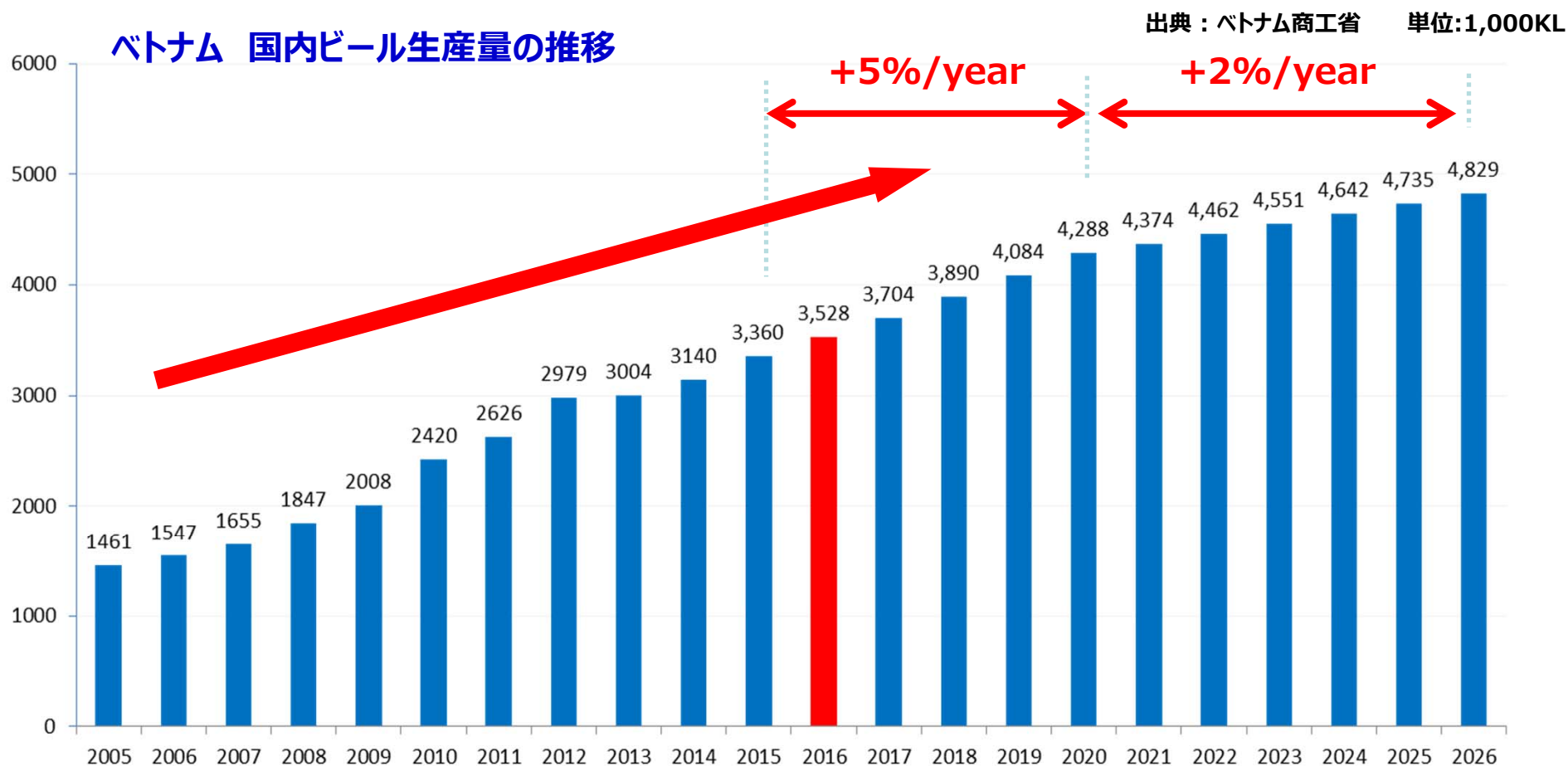




SAPPORO

ベトナムビール市場と下期戦略(2)

ベトナムのビール市場は若干鈍化するものの引き続き拡大の見込み



➤ 2025年頃には日本の消費量を上回ると見られている



SAPPORO

ベトナムビール市場と下期戦略(3)

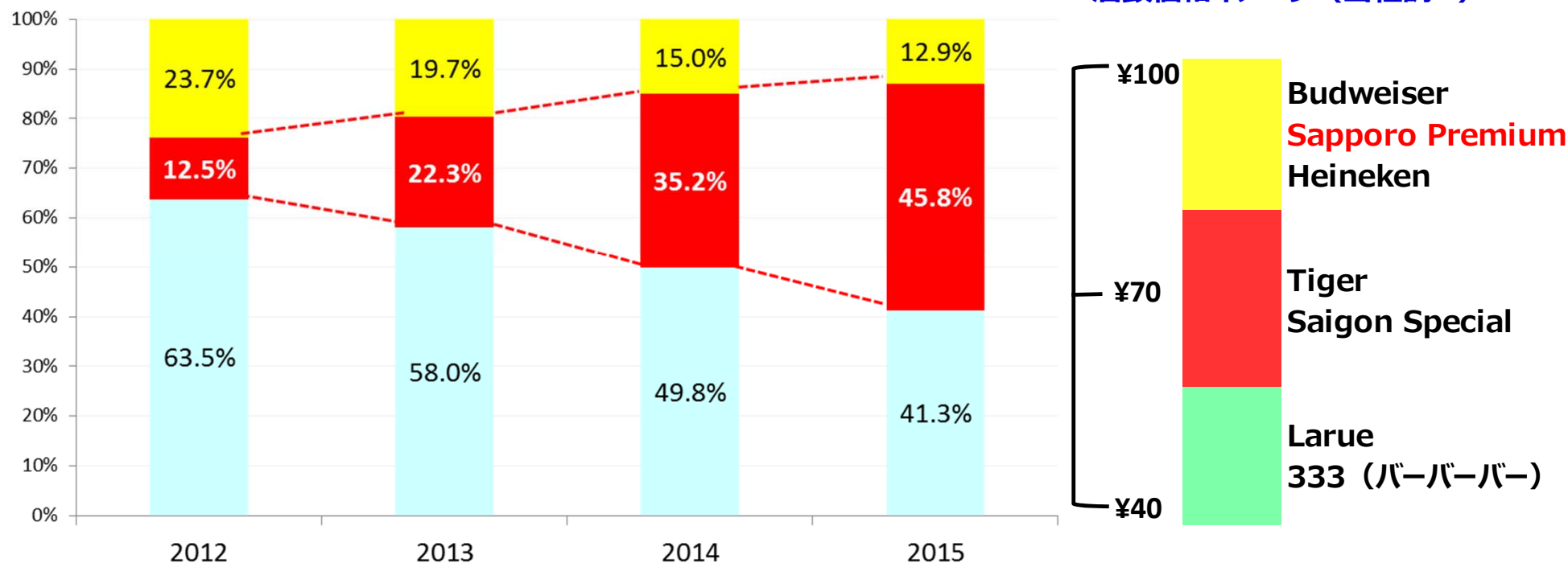
経済環境や他社戦略の変化もあり、中価格帯が急激に伸びている

ベトナム ビール価格帯別構成比の推移

Data source :Nielsen , excluding MT

Economy Mainstream Premium

330ml缶 1本当たりの
店頭価格イメージ (当社調べ)



➤ 急拡大する中価格帯でシェアを取らなければ、ボリュームを稼ぐのは難しくなっている



SAPPORO

ベトナムビール市場と下期戦略(4)



BLUECAP
PREMIUM BEER



中価格帯市場への新商品の投入

7月28日発売「BLUE CAP (ブルーキャップ)」

- SVLが初めて発売するベトナム市場向けの新商品
- ブランドポートフォリオを広げボリュームゾーンに参入
- 330ml缶のみ発売
- 「Sapporo Premium Beer」とは異なるターゲットを想定
 - メインは20代～40代の中間所得層
 - 何杯でも飲める爽やかなのどごし
 - ブランドカラーの青を基調とした、爽やかでダイナミックなイメージのパッケージ

サッポロブランドを冠した新商品の発売により、マーケットやお客様の調査をおこない、今後のベトナム事業戦略に活かす



SAPPORO

米国飲料事業の展開

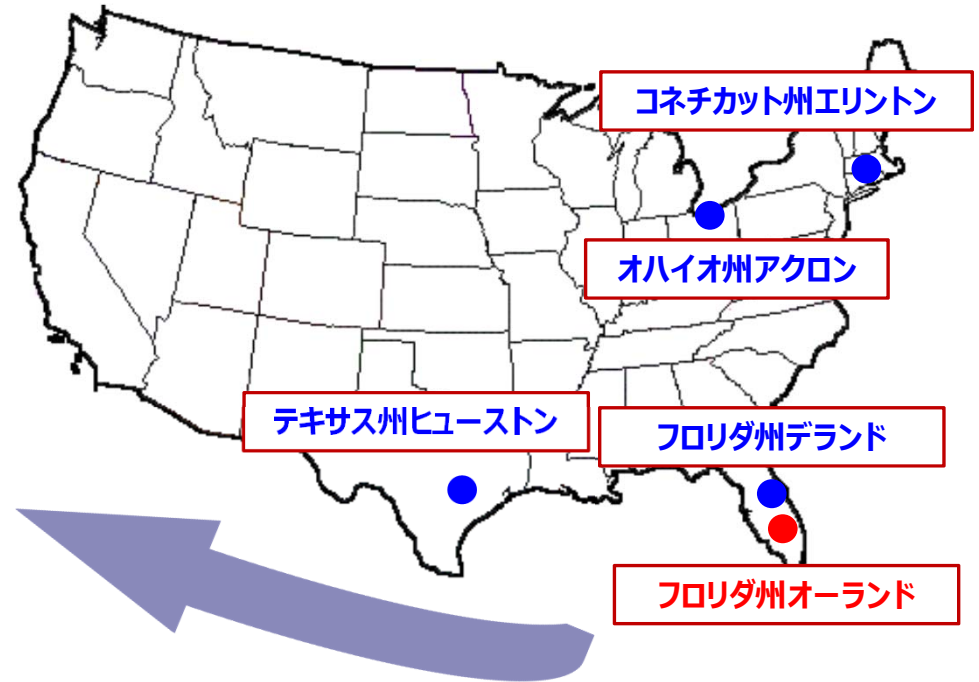
「Ridgefield's (リッジフィールズ)」 から100%果汁シャーベット事業買収

- 学校給食用果汁シャーベット・アイスクリーム市場で2位
- 果汁100%シャーベットの開発及び製造ノウハウを本買収により取得
- CPFが100%果汁、野菜ジュースで持つ学校給食用販路に乗せて売上を拡大 (28州→49州)
- 昨年度の売上高は約US\$13million



- カントリーピュアフーズ社工場
- シルバースプリングスシトラス社工場

工場立地



- 2社5工場体制となり、今後は販路拡大と製造体制の最適化を図る。米国東部に片寄る製造拠点を西部に広げていくことも検討する。

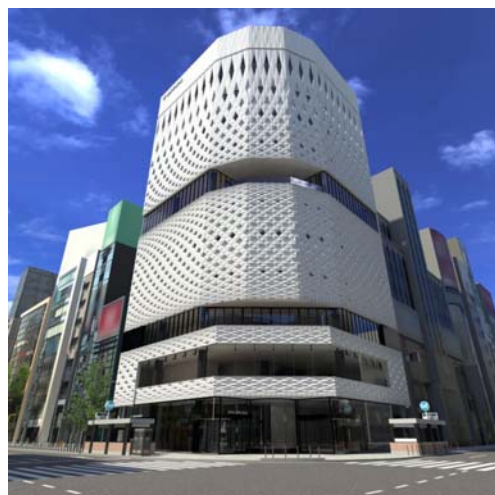


SAPPORO

不動産開発 銀座・札幌

GINZA PLACE

9月24日オープン



フロア	店名	概要
11F	神戸プレジール銀座	神戸牛鉄板焼きレストラン
10F	S G C (仮称)	貴金属買取・販売
8・9F	随時リリース予定	
7F	Thierry Marx/BISTRO MARX	フレンチレストラン・ビストロ・カフェ
4～6F	ソニーショールーム/ソニーストア 銀座	ショールーム
3F	GINZA PLACE CAFE (仮称)	イベントスペース&カフェ
1・2F	日産ブランドセンター (仮称)	ショールーム・ショップ・カフェ
1F	優雅なきもの つゞれ屋	ショップ
B1・2F	銀座ライオン GINZA PLACE店	ビヤホール・ブラスリー

「サッポロファクトリー」(札幌市中央区)



「(仮称) N3E4プロジェクト」 (サッポロファクトリー第3駐車場跡地再開発)

- サッポロファクトリー隣地の第3駐車場跡地を賃貸物件に再開発
- ショールーム及び事務所として1棟貸、安定的収益力向上に貢献
- 敷地面積4,360㎡、延べ面積6,900㎡、2017年5月竣工予定



3. 中期的な事業ポートフォリオの展望



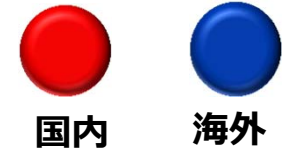
SAPPORO

中期的な事業ポートフォリオの展望(1)

成長性

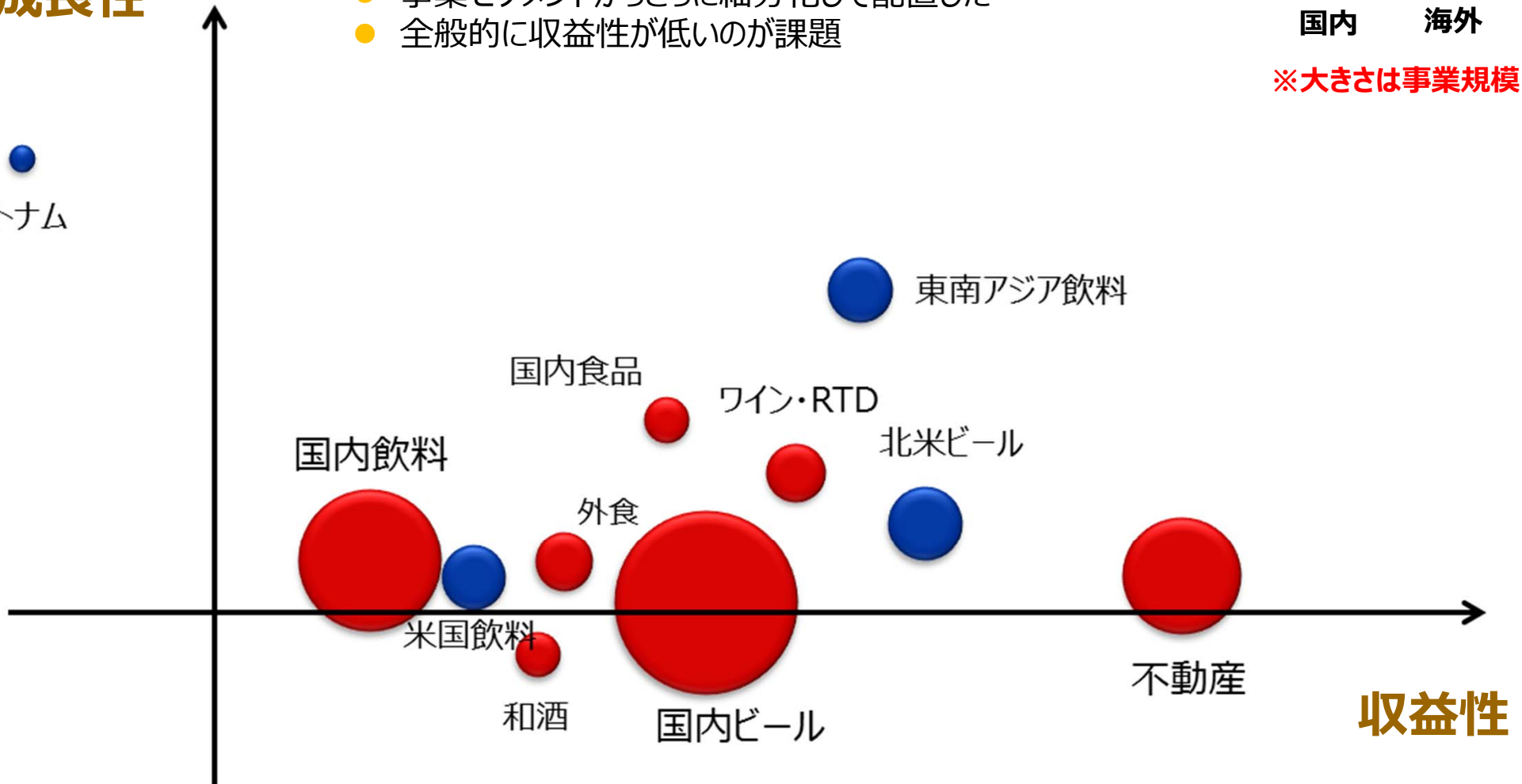
現状の事業ポートフォリオ

- 事業セグメントからさらに細分化して配置した
- 全般的に収益性が低いのが課題



※大きさは事業規模

ベトナム





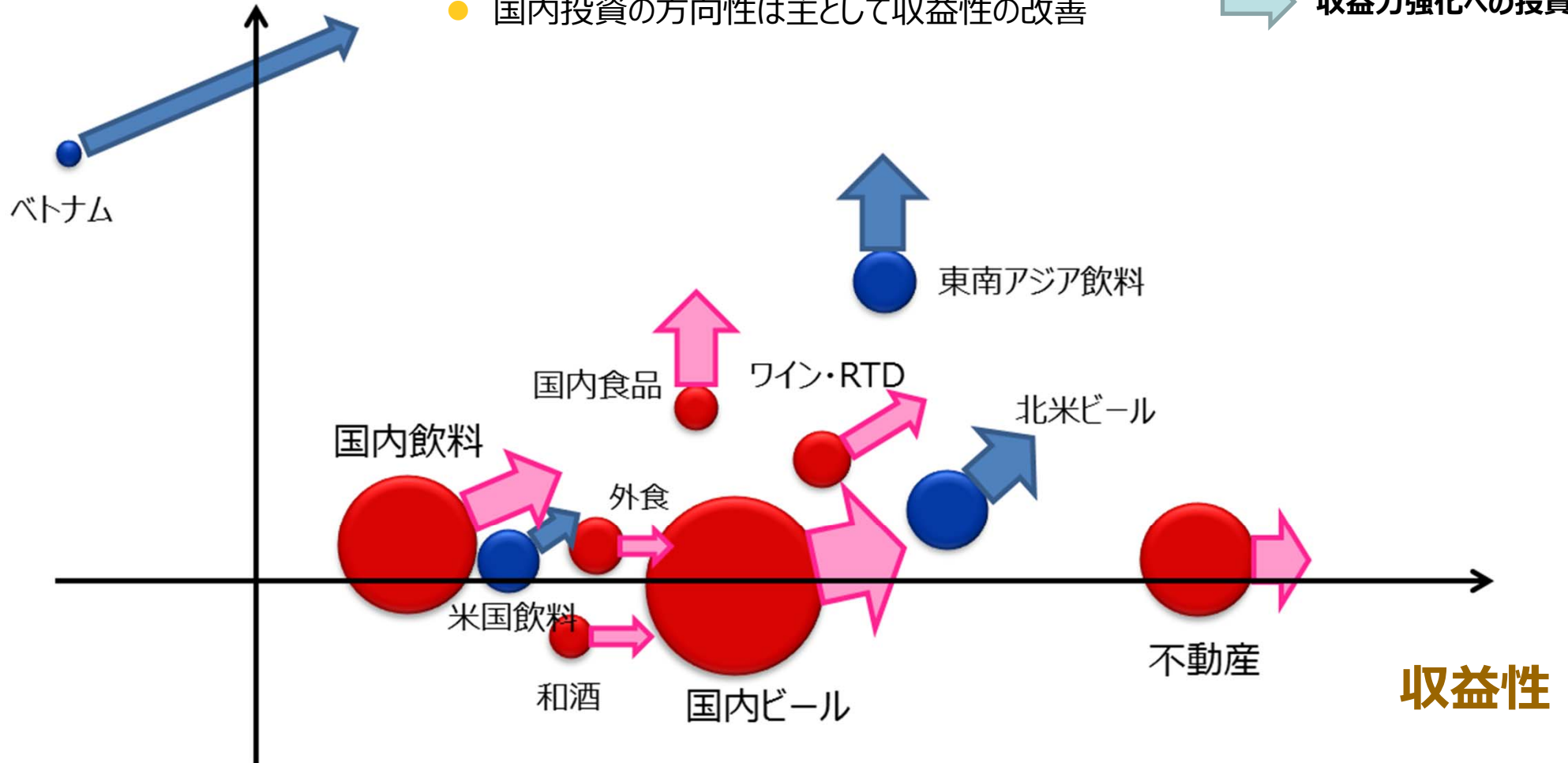
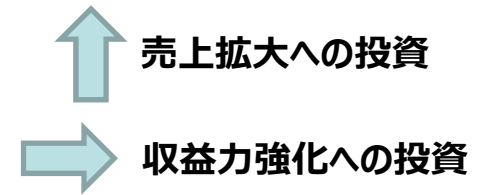
SAPPORO

中期的な事業ポートフォリオの展望(2)

成長性

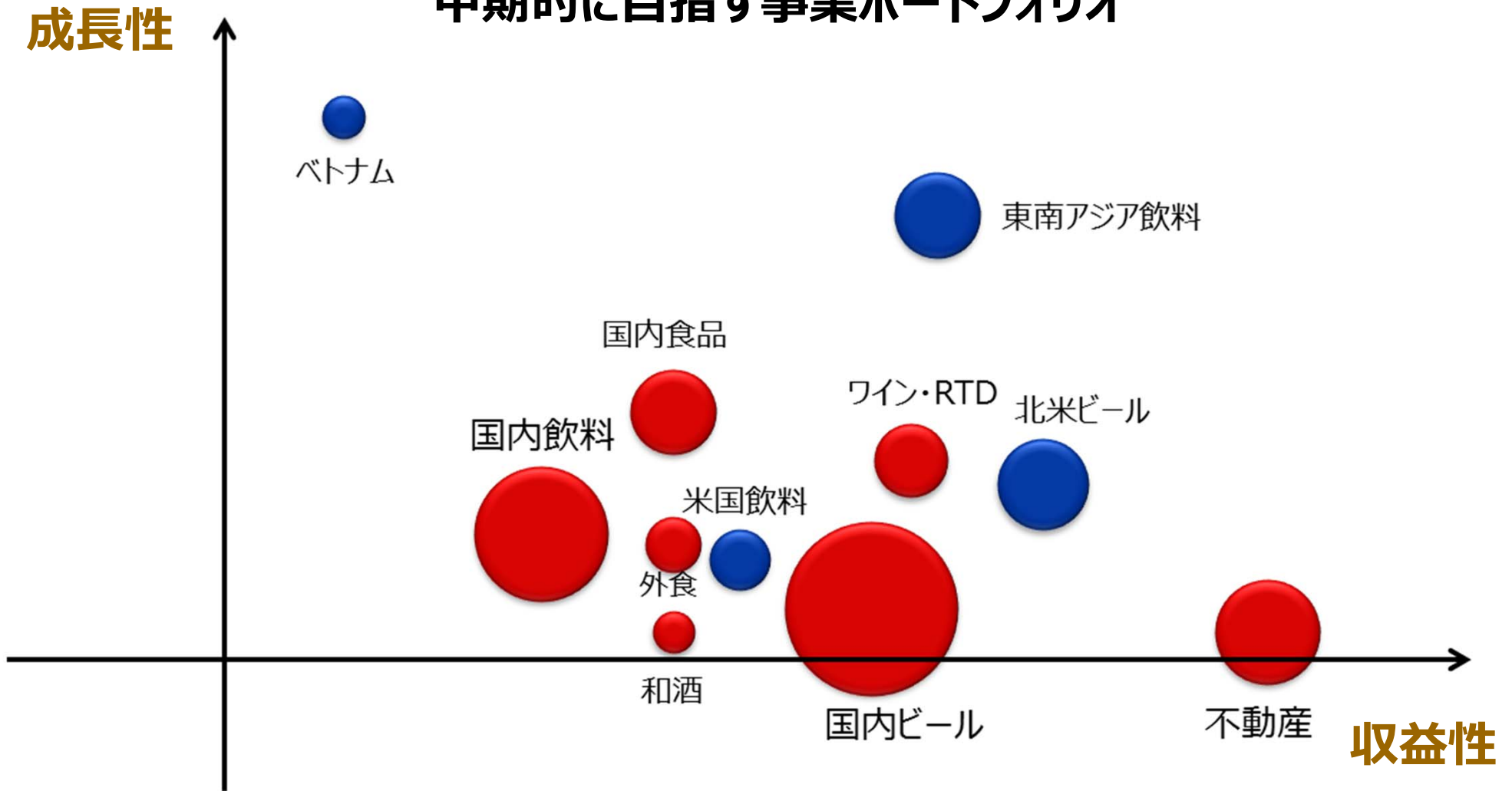
中期的な投資の方向性

- 伸びる市場に積極的に成長投資
- 国内投資の方向性は主として収益性の改善



中期的な事業ポートフォリオの展望(3)

中期的に目指す事業ポートフォリオ





Appendix : データ集



2016年第2四半期 主な売上数量・金額（前期比）

国内酒類 <small>（単位：万箱／大瓶換算、※RTDは250ml×24缶換算）</small>			
	平成27年度 第2四半期	平成28年度 第2四半期	前年比
サッポロ生ビール黒ラベル計	730	764	105%
エビス計	382	401	105%
①ビール計	1,253	1,323	106%
②発泡酒計	229	203	89%
③新ジャンル計	744	730	98%
ビール・発泡酒・新ジャンル合計（①+②+③）	2,225	2,256	101%
ビールテイストノンアルコール飲料	56	37	66%
RTD（※）	105	130	125%
	平成27年度 第2四半期	平成28年度 第2四半期	前年比
国産ワイン	25	24	94%
輸入ワイン	34	36	105%
ワイン計	60	60	100%
洋酒計	26	30	117%
焼酎計	69	76	110%

海外ビール <small>（単位：万箱／大瓶換算）</small>			
	平成27年度 第2四半期	平成28年度 第2四半期	前年比
スリーマン社（※1）	604	606	100%
サッポロブランド	265	272	103%

※1：サッポロブランドを除く

飲料水（ポッカサッポロフード&ビバレッジ）

<small>（単位：万箱）</small>			
	平成27年度 第2四半期	平成28年度 第2四半期	前年比
飲料水（※2）	2,148	2,138	100%

※2：国内売上のみ。（豆乳除く）

売上金額（酒税込み） （単位：億円）

	平成27年度	平成28年度	増減	増減率
ビール	678	721	42	6.2%
発泡酒	87	77	▲10	▲11.5%
新ジャンル	245	241	▲4	▲1.7%
合計	1,011	1,039	28	2.8%

売上金額（酒税抜き） （単位：億円）

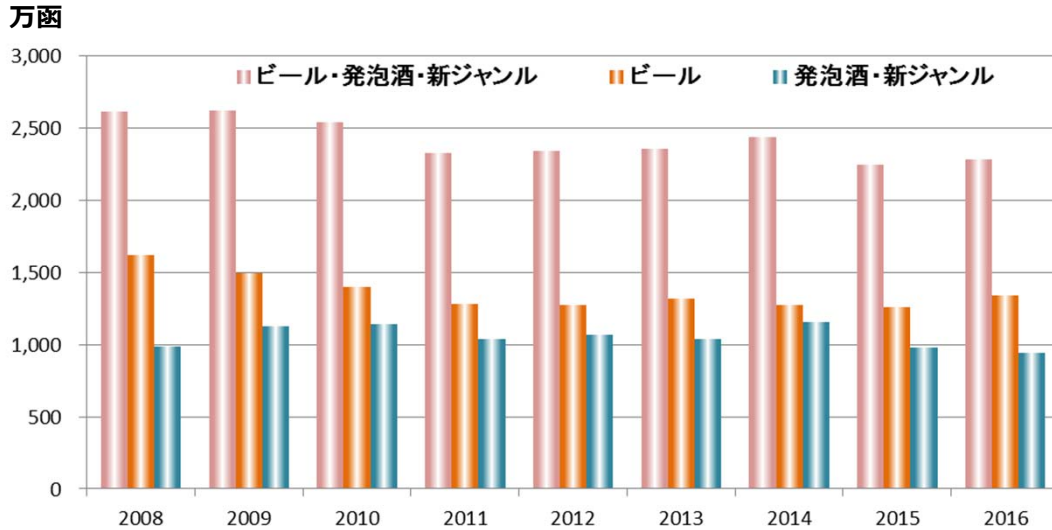
	平成27年度	平成28年度	増減	増減率
ビール	329	352	22	6.9%
発泡酒	48	43	▲5	▲11.5%
新ジャンル	170	167	▲2	▲1.7%
合計	548	563	14	2.6%



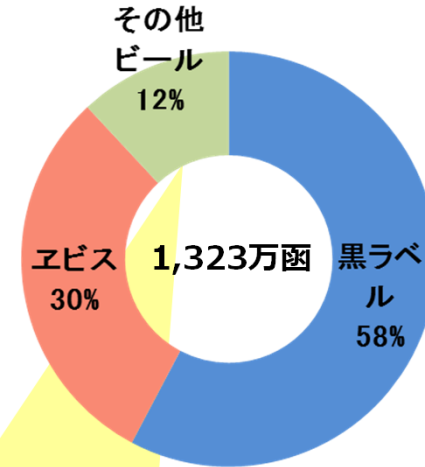
補足資料(1) 国内酒類事業～ビール類データ～

SAPPORO

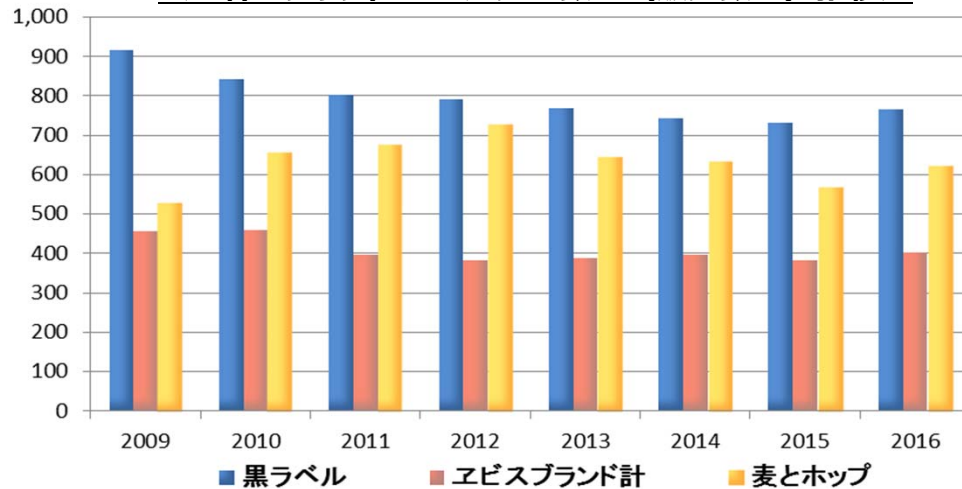
＜ビール類及びビールカテゴリ1～6月売上数量（課税出荷）推移＞



＜ビールカテゴリラインナップ（1～6月構成比）＞



＜基幹3ブランド1～6月売上数量（販売数量）推移＞



- (1) **サッポロガービール**：日本で最も歴史ある熱処理ビール瓶のみで展開するが、今年缶を限定発売
 - (2) **エーデルピルス**：樽生のみ。チェコ・ザーツ産ファインアロマホップを3倍（当社比）使い、華やかな香りが特長
 - (3) **白穂乃香**：厳選された店のみで提供する無濾過樽生ビール
 - (4) **サッポロクラシック**：麦芽100%の北海道限定販売のビール
15年連続で売上増
- 他



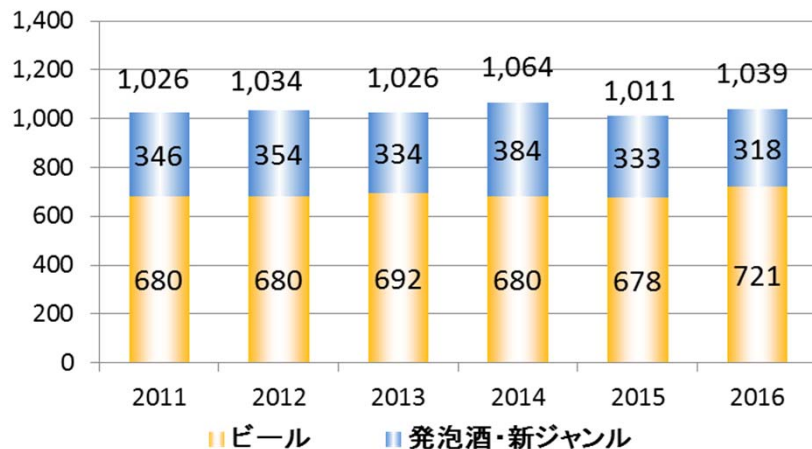


SAPPORO

補足資料(2) 国内酒類事業～多層化データ～

<1～6月売上金額（億円）推移>

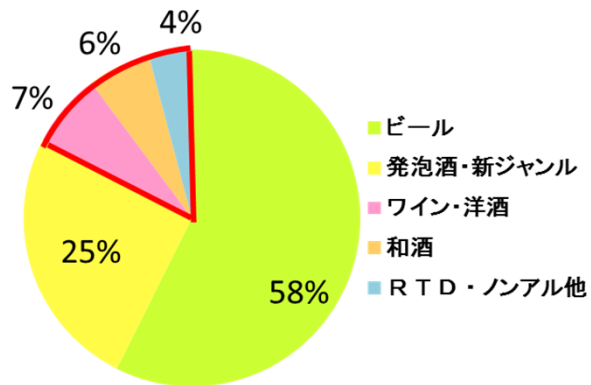
ビール類（酒税込み）



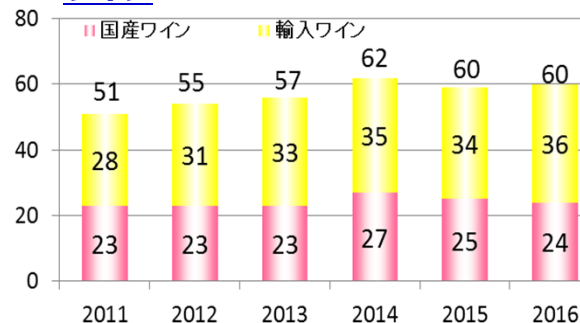
多層化の推進

<国内酒類事業1～6月カテゴリ別売上金額構成比>

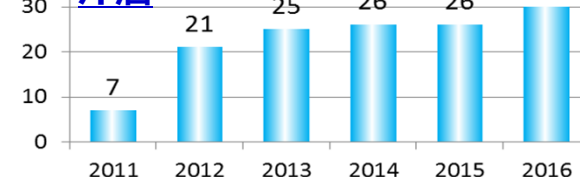
1～6月売上高
1,257億円



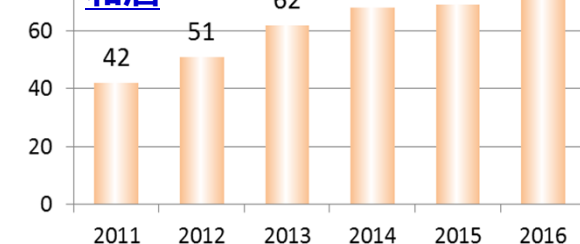
ワイン



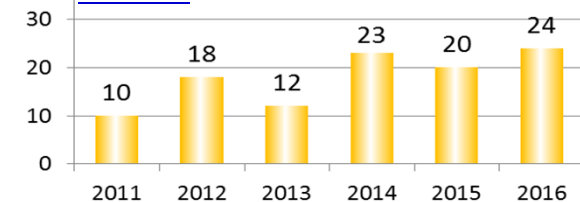
洋酒



和酒



RTD

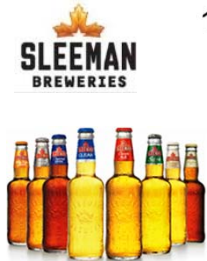
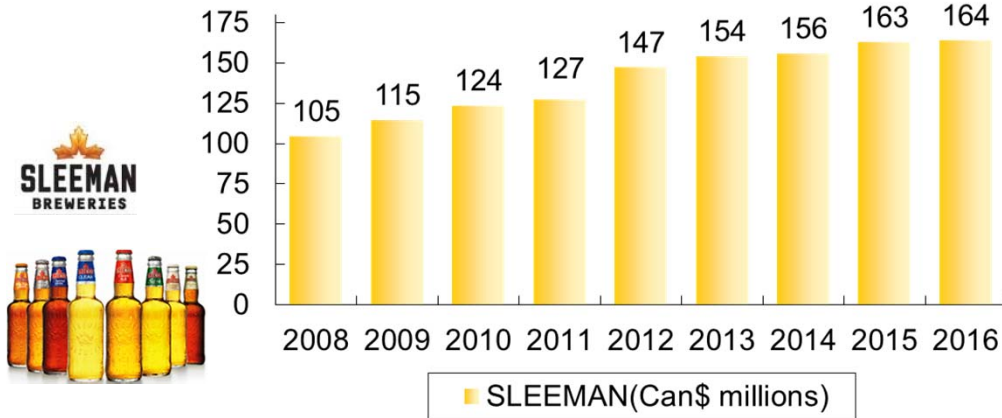




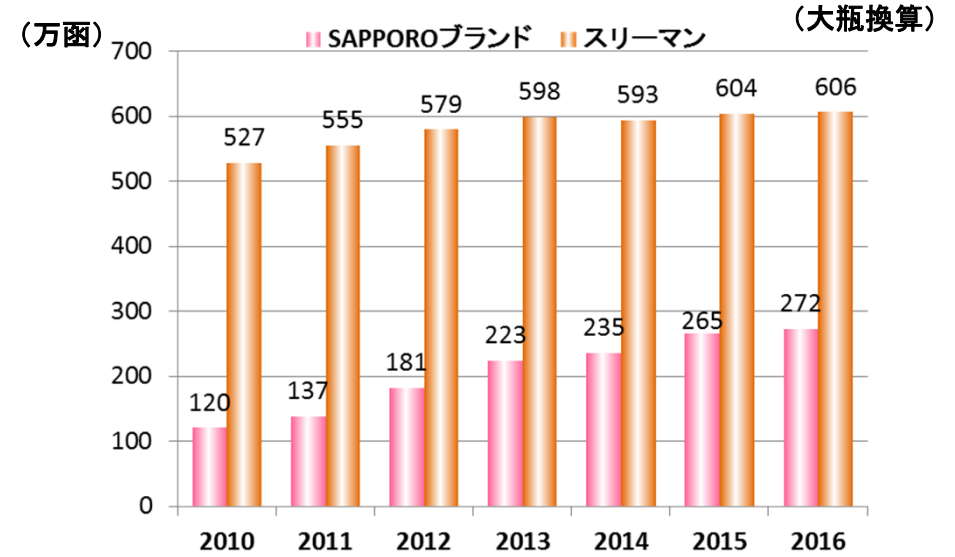
補足資料(3) 国際事業～データ～

SAPPORO

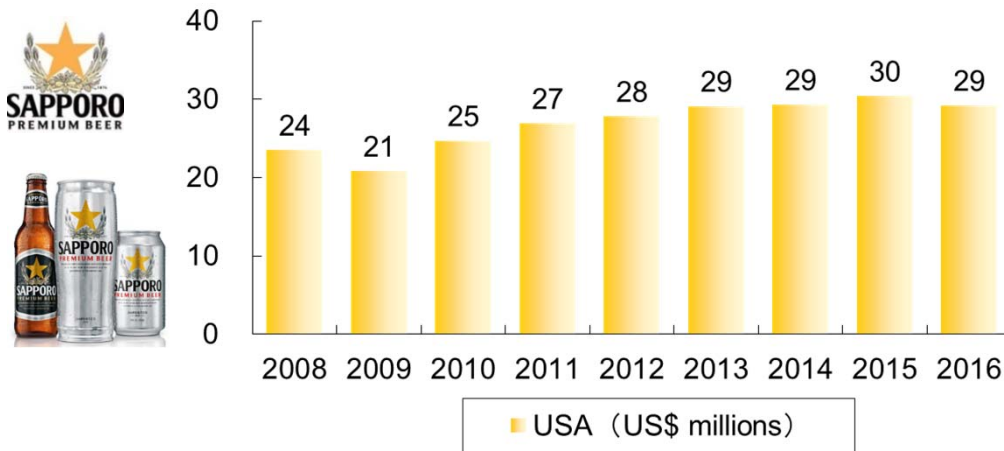
スリーマン社：現地通貨売上高（連結消去前）の推移（1～6月）



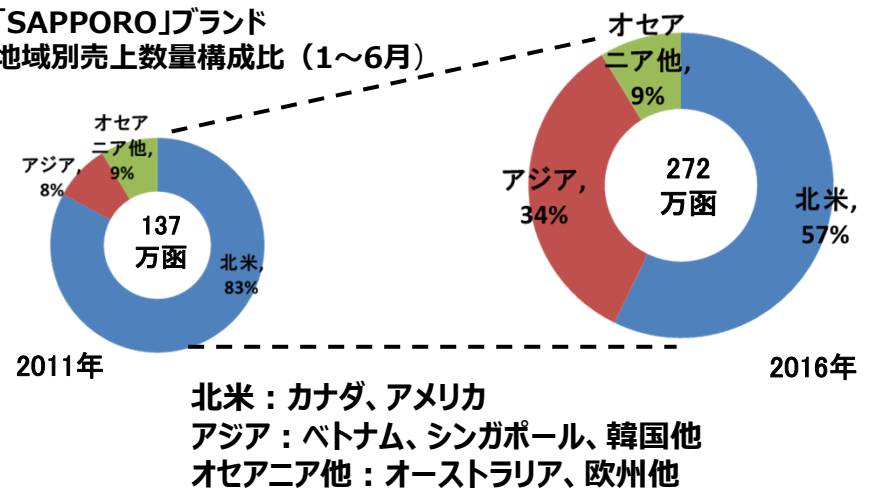
＜海外ビール売上数量の推移（1～6月）＞



サッポロUSA社：現地通貨売上高（連結消去前）の推移（1～6月）



「SAPPORO」ブランド
地域別売上数量構成比（1～6月）



北米：カナダ、アメリカ
 アジア：ベトナム、シンガポール、韓国他
 オセアニア他：オーストラリア、欧州他

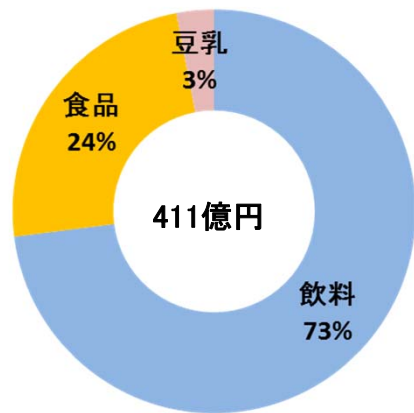


SAPPORO

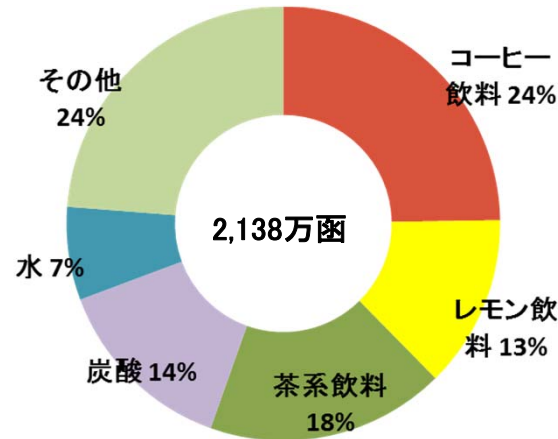
補足資料(4) 食品・飲料事業～データ～

<国内飲料事業：ポッカサッポロフード&ビバレッジ>

ポッカサッポロフード&ビバレッジ
売上高構成比（1～6月）



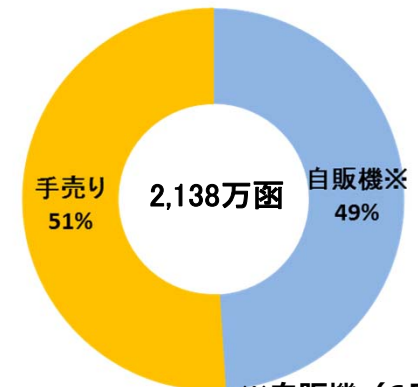
国内飲料ジャンル別販売数量
構成比（1～6月）



<レモン飲料商品群>



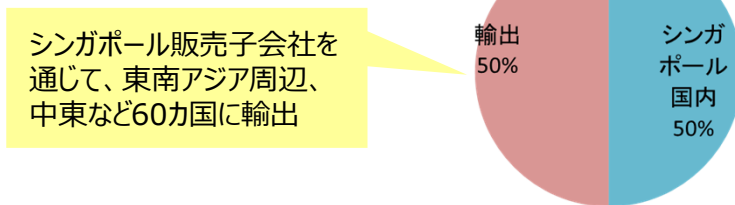
国内飲料チャネル別
売上構成比（1～6月）



※自販機（6月末）
自社ブランド約90千台
+白ベンコラム

<海外飲料事業：ポッカコーポレーション・シンガポール>

POKKAブランド
1～6月累計 売上高比率



<国内外食事業：（株）ポッカクリエイト>

➢「カフェ・ド・クリエ」：季節に合わせた新メニューの提案、新規出店を積極的に展開、売上高は前期比108%

店舗数：196店（2016/6月末現在）

（直営：114店舗 FC：82店舗）

北海道3店 東北1店 関東106店
東海38店 関西36店 九州9店 四国3店





SAPPORO

補足資料(5) 外食事業～データ～

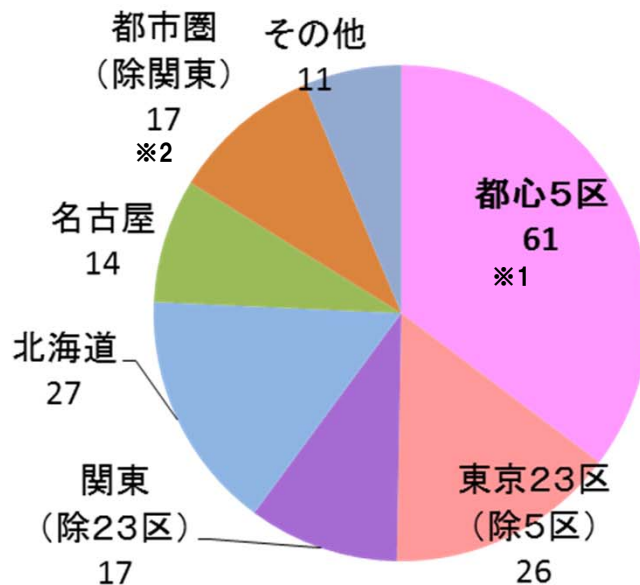


<サッポロライオン店舗展開>

2016年6月末 173店舗



「ビヤホールライオン」銀座七丁目店



※1：中央、千代田、港、新宿、渋谷区
 ※2：仙台、京都、大阪、神戸、福岡

<ニュー三幸店舗展開>

札幌・小樽エリアに9店舗
 1～6月新規1店舗

<マルシカワムラ店舗展開>

札幌・東京エリア中心に18店舗

<シンガポールの店舗展開>

2016年6月末店舗数：シンガポール 14店舗

- ・「銀座ライオン」(ビヤホール)：2店舗
- ・「とん吉」(トンカツ)：4店舗
- ・「リヴゴーシュ」(洋菓子)：8店舗

「GINZA LION」
 第1号 ロバートソン店





SAPPORO

補足資料(6) 不動産事業～データ～

主要物件概要・稼働率 : <1～6月平均・入居ベース>にて記載

都内23区主な賃貸物件	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	平均稼働率 (%)	階数
恵比寿ガーデンプレイス ⁽¹⁾	56,943	298,007	99%	地下5階付40階建
恵比寿ファーストスクエア	2,596	15,496	100%	地下1階付12階建
恵比寿スクエア	1,561	9,126	100%	地下1階付7階建
銀座プレイス	645	7,350	—	地下2階付11階建
ストラータ銀座 ⁽²⁾	1,117	11,411	100%	地下1階付13階建

(1) : 「階数」はオフィス棟部分のみ、「稼働率」はオフィス区画にて記載

(2) : 100%持分にて記載。当社持分は、土地922㎡（区分所有）、建物89.72%（共有持分）

賃貸等不動産期末時価情報

<2015年12月末時点>

連結貸借対照表計上額 : 約1,977億円

期末時価 : 約3,574億円

営業利益

単位：億円

	15年1-6月	16年1-6月	増減
不動産賃貸事業			
都内23区	35	48	13
其他地区	5	6	1
不動産賃貸事業合計	40	54	14
不動産販売	—	—	—
その他事業※	-3	-2	0
合計	37	51	14

※「その他事業」には、間接部門が含まれます

EBITDA

EBITDAは、「営業利益+減価償却費」にて算出

単位：億円

	15年1-6月	16年1-6月	増減
不動産賃貸事業			
都内23区	51	64	12
其他地区	8	9	1
不動産賃貸事業合計	60	73	13
不動産販売	—	—	—
その他事業※	-2	-1	0
合計	58	72	13

※「その他事業」には、間接部門が含まれます



潤いを創造し 豊かさに貢献する



本資料で記載している業績予測ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測であり、潜在的なリスク・不確実性が含まれています。

そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載されている将来見通しとは、大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。